

## 第 25 期 第 7 回環境学委員会 環境思想・環境教育分科会 議事要旨

日時：2022 年 9 月 19 日（月）13:00～15:00

会場：オンライン会議

参加者（敬称略・五十音順）：井上真理子，工藤由貴子，河野哲也，小崎隆，関礼子，豊田光世，日置光久，氷見山幸夫，

欠席：井上真，蟹江憲史，北村友人，馬奈木俊介，山口しのぶ

オブザーバー：土方圭，奇二正彦

\*委員 13 名中 8 名の出席により会議は成立した。

### 議題等

#### 報告事項

##### 1. 議事録の確認

関委員長、回覧・確認後に HP にて公開したことを確認。

##### 2. 環境教育における体験の再検討小委員会報告

井上委員より第 1 回の小委員会開催について報告があった。コロナ禍において益々課題となっている体験の場づくりについて、異なる分野の委員が参加して議論を開始した。

##### 3. 環境教育の思想的アプローチ小委員会報告

豊田委員より、7 月に予定されていた小委員会が延期となったこと報告があった。日程を再調整し、年度内に複数回の委員会を開催する予定である。

##### 4. その他

工藤委員より、5 月 7 日に開催された「リスク認知と教育」に関するフォーラムを受け、学術の動向での論集企画、学術委員会としての報告・提言が検討されている旨、報告があった。

#### 審議事項

##### 1. 話題提供：河野委員

自然科学的視点と人文社会科学的視点を重ね合わせて環境の理解を深めるワークショップ型の学習について、国内複数地域での実践にもとづく報告がなされた。米国大学院がパタゴニアで展開している亜南極圏生物文化保護プログラムを参考に、河野委員が展開を試みた教育プロジェクトである。こうした教育の展開では、地域の教育関係者・行政関係者との連携が不可欠であるほか、教育に従事するものが越境的視座をもつことや地域の多様性を

尊重する学びを追求することの重要性が議論された。

2. 今後の方向性に関して

関委員長より、本分科会での議論のアウトプットとして掘り下げるべき論点が提示された。今後の委員会で継続審議することとした。

3. 次回の日程

12月開催で日程調整を行うこととした。

4. その他

なし。